

新徳京ロープウェイ

安全報告書 2013



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

索道の運行において、最大の使命でありますお客様の安全輸送を完遂する為、施設の点検、整備、更新を確実に実施し安全運行に万全を期すと共に、全社員が安全に対する使命感・責任感を常に意識して職務に努めております。また「笑顔で接客」を心がけ、お客様に快適な施設・乗物として満足して戴けるよう更なる努力をして参ります。

今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成24年度の安全輸送に対する取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見ご感想を賜れば幸いです。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 佐々嘉則

2. 安全に関する基本的な方針

(1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

【安全方針】

法令順守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成24年度の安全重点施策は、以下の3項目です。

平成24年度安全重点施策

- 1 事故・障害件数の削減
- 2 安全基本動作及び相互注意の徹底
- 3 業務内教育（OJT）の実施

(3) 安全重点施策の実施結果

1 事故・障害件数の削減

当社独自に設けている事故・障害基準を基に、ヒューマンエラーによる事故・障害の削減を主に対策を講じました。その結果、発生件数の削減につなげることができました。
今後さらなる安全運行を推進します。

2 安全基本動作及び相互注意の徹底

前年度に引き続き、各担当係員による相互の動作確認を徹底するよう取り組んできました。安全に対する心構えが根付くよう講習、教育をおこない、係員が自発的に考え、実行していただけるよう努めます。

3 業務内教育（OJT）の実施

安全に関する知識、技能の習熟を図るため、現場で指導しながら、係員のレベルアップにつとめました。又、教育リーダーを選任し、業務内を問わず安全教育を推し進めました。
今後も継続しながら、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(4) 平成25年度安全重点施策の策定

平成24年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制向上を目指し、平成25年度安全重点施策を策定いたしました。

ヒヤリハットの活用を中心としたPDCAのスパイラルアップを図り、ソフト・ハード両面からの継続的改善、見直しに取り組んでまいります。

又、係員の自発的な行動につなげられる、主体的な教育・訓練の充実をしてまいります。

平成 25 年度安全重点施策

- 1 設備保守点検を強化し、施設故障の削減、自社責任による事故をゼロにする。
 - ・施設の定期点検・巡回点検を強化し、施設故障、事故障害を未然に防ぐ。
 - ・過去のヒヤリハット情報の分析、対策を図り事故障害を未然に防ぐ。
 - ・索道事業部内の情報交換・共有を密にし、兆候段階で事故障害を未然に防ぐ。
 - ・内部監査実施による是正事項を掘り下げ改善し、安全性の向上を図る。

- 2 安全基本動作及び相互注意を徹底し、ヒューマンエラーを撲滅する。
 - ・安全最優先の意識の定着、相互に注意しあうことによる、全員参加の安全文化の構築を図る。
 - ・担当係員により弱点箇所図を見直し、常に安全意識を持ってもらう。
 - ・法律、基準、規則の基礎的な知識の習得を図る。

- 3 業務内教育（OJT）を強化し、知識・行動の底上げを図る。
 - ・教育リーダーによる、業務を通じての安全教育を推し進め、安全知識・行動の底上げを図る。
 - ・係員主体参加の事故・障害事例勉強会、危険予知活動の実施。
 - ・管理職による安全巡視・指導を実施・強化し、係員の理解度、浸透度を把握し教育計画に反映させる。

3. 当社の安全管理体制

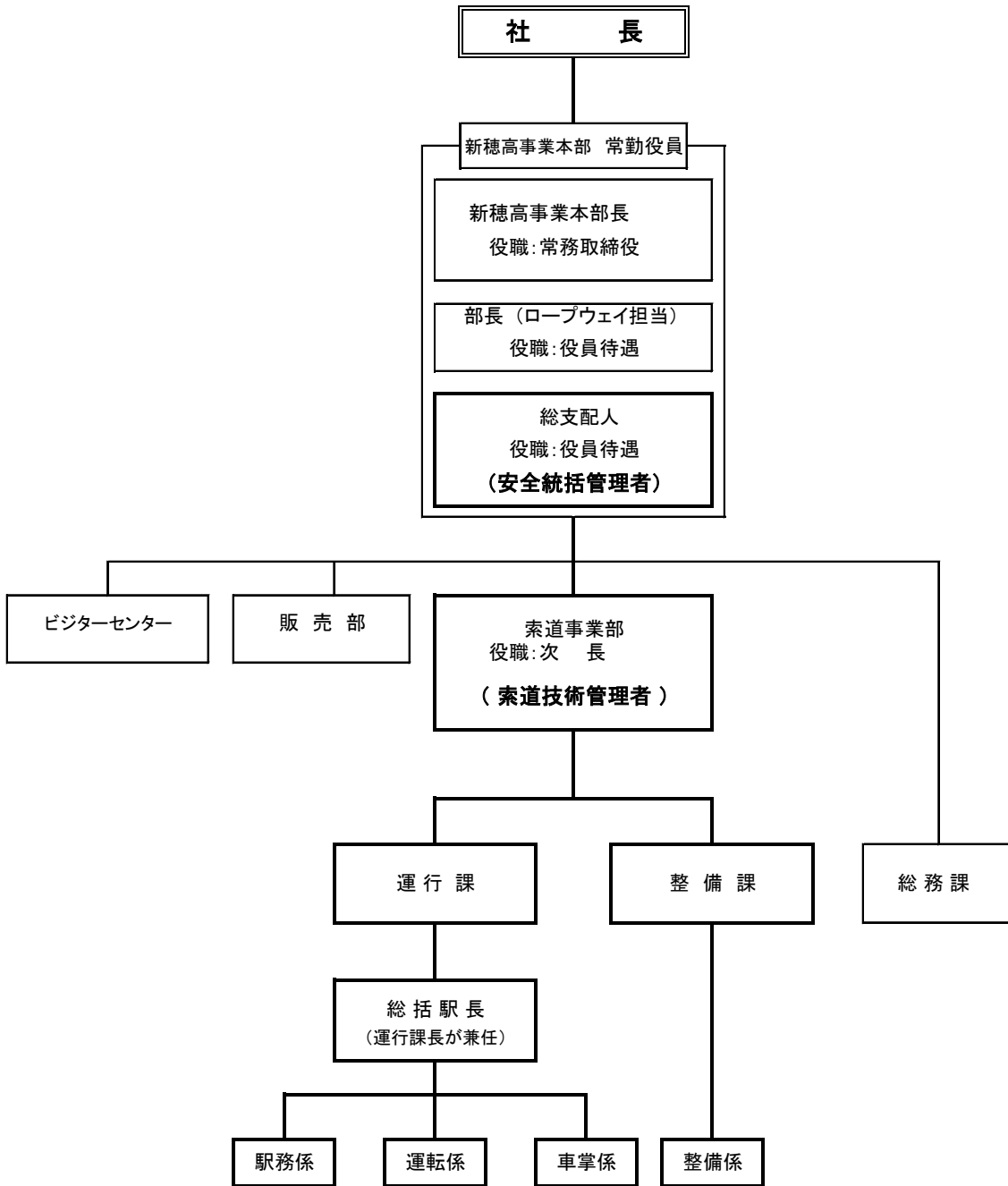
(1) 安全管理体制の確立

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進しておりますとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策を検討、実施しております。

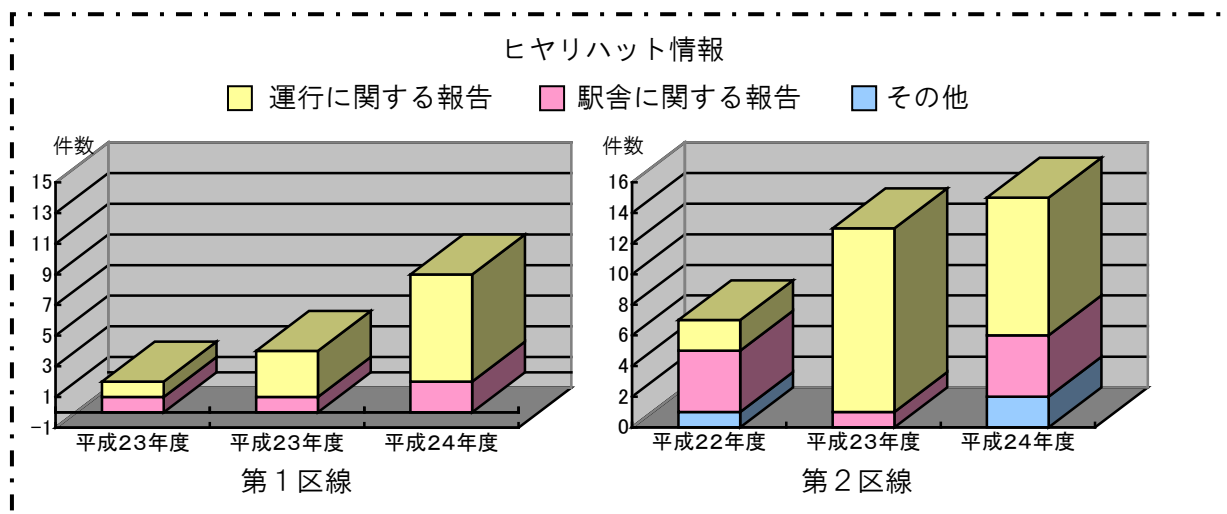
新穂高ロープウェイ

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット情報を集約し、安全のための対策を策定しております。



今後、情報収集のための環境整備を整え、情報の共有化を進めてまいります。

得られた情報は、PDCA サイクルに繋げていくとともに、自主的な安全活動の活性化を図りながら、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

【ヒヤリハット報告】

第1区線駅ホームの発着時に現状の監視場所では Gondola が見にくく監視しづらい。

【改善】

ホーム先端で監視を行うよう、操作ボックスを増設しました。

(改善箇所 新穂高温泉駅及び鍋平高原駅)



4. 平成24年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故等）

平成24年度、当該事故の発生はありませんでした。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成24年度、該当する災害はありませんでした。

※天候不良による運行休止は、第1区線では「約34時間」、第2区線では「約125時間」でした。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成24年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

(4) その他の運転障害等

平成24年度に発生した障害について、発生状況、原因とその対策についてお知らせします。

1、運行中における、制御装置（位置検出器）作動による途中停止（第2区線）

【発生日時】平成24年10月4日（木）午前9時51分

【概要】運行途中に位置検出器が作動、途中停止した。以降再発車できなくなった。

【原因】前日実施した原動、誘導滑車のブロックライナー交換による。

（運行毎の位置検出が正常にできなくなった。）

【対策】作業計画時における、業者を含めた事前協議の徹底。

5. 安全確保のための取組み

(1) 人材教育・育成

年2回、安全教育月間を設定し、期間内で安全教育を実施し、人材の育成に努めました。

12月には経営層による講話、安全に関する講習をおこない、安全意識の高揚を図りました。



安全に関する講習

(2) 緊急時対応訓練

7月と12月に駅舎内における火災等の緊急事態を想定し「非常時対応訓練」を実施しました。

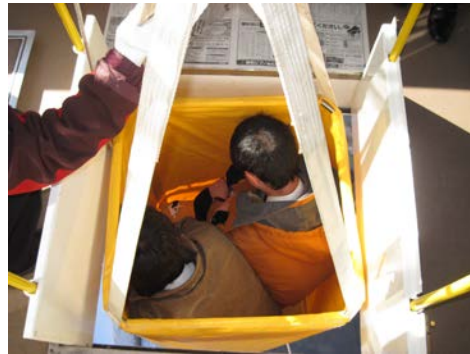


火災時対応訓練



非常時通報連絡訓練

ロープウェイ運行中における非常事態を想定し、年3回の救助訓練を実施しました。
合わせて非常時通報連絡訓練を実施しました。



応急下降器による救助訓練

(3) 安全のための投資と支出

平成24年度は、第2区線の各鉄塔整備他、索道の機械・電気設備の保守に関する整備・点検・工事に約38.7百万円を投資しました。

今後も安全・保安対策を計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

6. ご連絡先

【本社】

〒506-0053

岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517

FAX : 0577-34-7101

ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【事業所】

〒506-1421

岐阜県高山市奥飛驒温泉郷

神坂字巾平710番地79

新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252

FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

平成25年(2013年)9月発行